



学校だより

令和7年2月27日 3月号 岩国市立岩国小学校



弥生3月、卒業、修了のとき

立春を過ぎ、二度の長期間に渡る寒波に見舞われましたが、少しずつ日の光が暖かみを増し、春が近付いているのを感じる頃となりました。いよいよ一年のまとめの月である3月を迎えます。

先日の参観日で見えていただいたように、子どもたちは、自分や集団の成長を確認し、その力を確かなものにしようと頑張っています。大切なことは、自分の努力やそこから得られた成果を「自分のよさ」として捉え、自信に変えることです。誰にもあるよいところを互いに認め合い、力を合わせることで大きな力になることを心に留め、頑張った自分を称え、周囲の仲間にも感謝することです。そのような振り返りが、新しい学年への希望や意欲につながっていきます。ともに過ごしてきた一年間を肯定的に捉えられるよう、支援してまいります。

3月18日には、138人の6年生に卒業証書を手渡します。最高学年である6年生は、心も身体も一段とたくましくなり、卒業間近であることを感じさせます。卒業式の日が、6年生にとって、晴れやかな一日となるよう、引き続きの御支援をお願いします。

地域の方々や保護者の皆様に支えられて

一年を振り返ると、地域の方々や保護者の皆様の学校に対する多くの支えがあったことを改めて感じます。

入学間もない一年生の朝のお世話に始まり、昔遊びの指導や道徳授業などにも関わってくださった民生委員・児童委員を中心とした地域の皆様、日常的な見守りや交通指導をしてくださった交通安全協会岩国支部の皆様、毎月読み聞かせをしてくださった「すずかけの会」の皆様、全ての学年でストーリーテリングをしてくださった「相相」の皆様、本当にありがとうございました。

また、地域の多くの方々に来校し、専門的な立場からの話や体験活動の指導をしてくださり、児童の学びがより豊かなものとなりました。

そして、保護者の皆様は、学校に最も近い立場として、日々の教育活動や行事を支えてくださいました。何より心強くありがたく思っています。

次年度、岩国小学校の強みを生かし、さらに「よりよい学校・地域とともにある学校」を目指してまいりますので、今後益々のお力添えをお願い申し上げます。

「10歳を祝う会」開催

2月21日（金）の参観日に、10歳という節目の年を迎えた4年生が、「10歳を祝う会」を行いました。それぞれの学級では、これまでの自分を振り返ったり、これからの自分の決意を述べたりする作文を発表し、呼びかけや歌により、自分たちの思いや感謝の気持ちを家族に伝えました。これからの活躍が楽しみです。



ストーリーテリングの様子



昔遊びの様子

